

栗原市地域おこし協力隊活動報告会 資料

花山地区「小さな拠点」づくりプロジェクト 活動報告

令和4年3月18日（金）

栗原市地域おこし協力隊

花山地区「小さな拠点」づくり及び移住定住推進業務担当

海山裕太

発表構成

花山地区地域おこし協力隊の概要 P.2-p.4 **1**

今年度の主な取り組み P.5-p.9 **2**

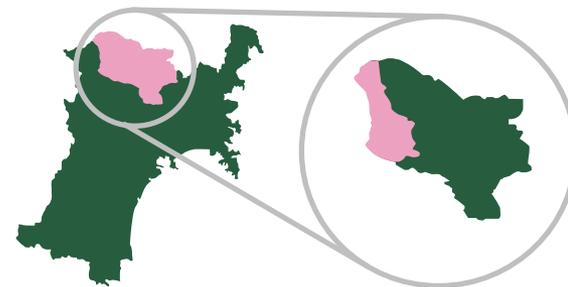
来年度の予定 P.10-p.15 **3**

1

花山地区地域おこし協力隊の概要

1.体制

2.活動概要

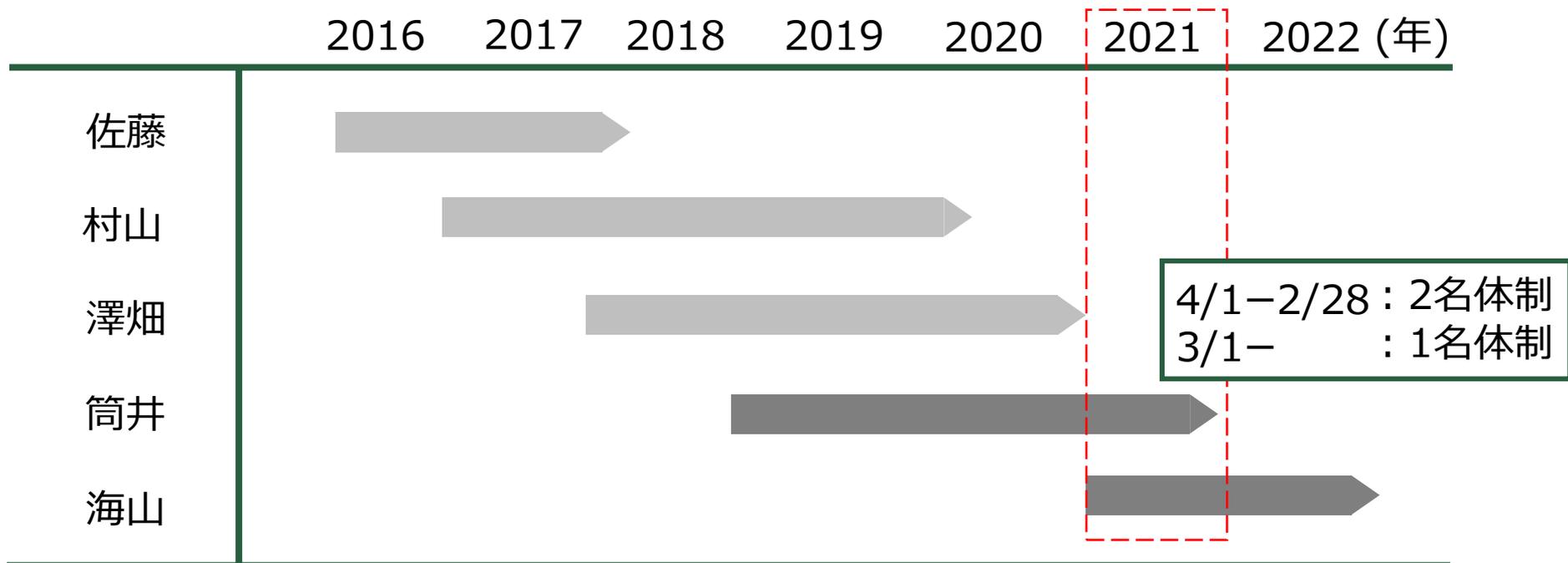


宮城県

栗原市・花山

1. 体制

(一)はなやまネットワークの**プロジェクト推進担当**として地域おこし協力隊が活動



歴代で**5名**の協力隊が活動！

2. 活動概要

花山地区内の**課題**や**特徴**に着目し、それに関する事を**プロジェクト化**

課題や特徴	プロジェクト
人口減少	移住体験ツアー (かがやく女性たちと過ごす花山いなか時間、ぼくらの農カルライフプロジェクト)
空き家問題	空き家利活用プロジェクト
交通問題	デマンド交通、買い物支援プロジェクト
集いの場の不足 雇用の場の不足	湖畔のみせ旬彩の運営
後継者不足	中山間地域における小果樹類を活用した 地域活性化支援事業 (ふさすぐり事業)
PR	はなやま暮らしの発行

2

今年度の主な取り組み

1. かがやく女性たちと過ごす花山いなか時間2022冬
2. ぼくらの農カルライフプロジェクト
3. 空き家片付け隊第12弾
4. はなやま暮らしの発行

1. かがやく女性たちと過ごす花山いなか時間2022冬

概要

目的) 地区在住の元気な「かがやく女性」たちが中心となった移住体験プログラムを通して、新たな交流人口の増加と移住促進をはかる。

対象) 首都圏等の移住希望者

対応する社会課題) 関係人口構築、移住促進、人口減少問題、東京一極集中

2021

開催時期) 令和 4年 1月8日(土)~10日(月・祝日)

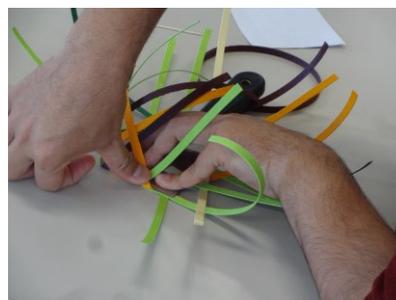
参加者) 3名



小正月料理



あわぼうづくり



カゴ編み



花山の蕎麦を学ぶ

2. ぼくらの農カルライフプロジェクト

概要

目的) 「農作業」を軸に、種まきから定植、収穫までを参加者に体験してもらう過程を通して花山に何度も訪れるきっかけを作り、関係人口の構築を図る。

対象) 市外に在住の大学生

対応する社会課題) 関係人口構築、耕作放棄地の利活用

2021

開催時期) 令和 3年 5月～11月

参加者) 計31名



種まき



収穫



調理



広報くりはら352号

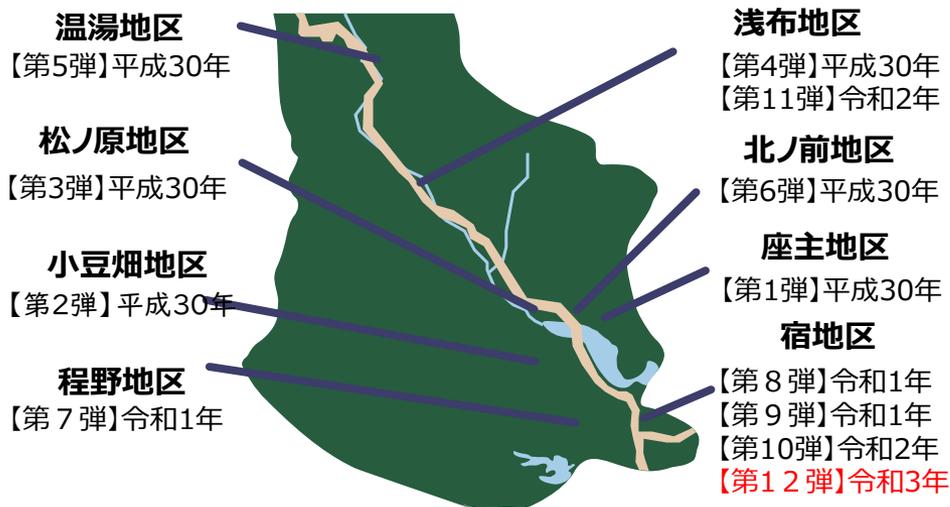
3. 空き家片付け隊第12弾

概要

目的) 花山地区にある空き家を「住める空き家」にして移住者の住まいの受け皿にする

対象物件) 花山地区にある約70件の空き家

対応する社会課題) 空き家問題、移住者の住まい対策



空き家片付け隊実施箇所

2021

開催時期) 令和 3年 11月11日、19日
物件) 花山・宿



集合写真



片付けの様子

4. はなやま暮らしの発行

花山地区 協力隊広報誌“はなやま暮らし”の発行



広報誌を通じて 活動状況を発信

平成30年度から、栗原市花山地区地域おこし協力隊とはなやまネットワークの活動状況を「はなやま暮らし」にて発信している。

花山地区の方には毎戸配布し、地区外の方にはFacebookを通して見ていただく。

毎月発行し、内容は協力隊同士で意見を出し合って台割や記事の割り振りを考える

現在**48**号発行

3 来年度の予定

- 1.湖畔のみせ旬彩の運営
- 2.放射能検査
- 3.住宅宿泊事業
- 4.花山の歴史・技術・文化の継承と共有

1. 湖畔のみせ旬彩の運営

来年度から5年間の指定管理をうけて運営！

2022年4月23日（土）オープン 予定！！



2. 放射能検査

概要

■ 目的

東日本大震災の影響で、現在花山で**販売禁止**されている一部山菜や天然きのこについて、測定器で測り、基準内のものは**販売可能**にすることを旨とする

■ 測定装置

非破壊式放射能測定装置

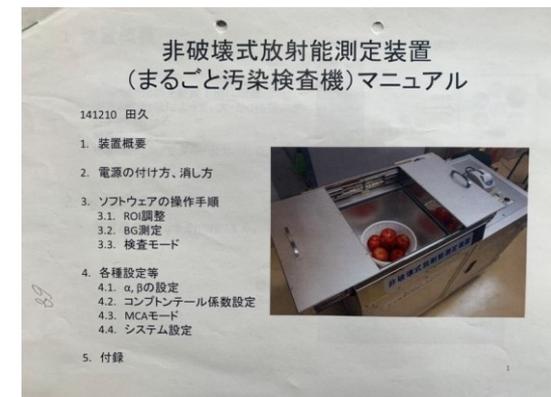
* 検体をこの装置に入れてることで測定可能。破壊する必要がない。
なお一検体につき測定時間は5分。

■ 設置場所

花山総合支所

■ 来年度の予定

役所との協議次第だが、平日に時間指定で対象物をもってきてもらい、測定を行う。基準内のものは販売を行うことを目標とする。



3. 住宅宿泊事業

概要

■ 目的

民泊やサテライトオフィスの利用を通して、花山での滞在拠点を増やす

■ 物件情報

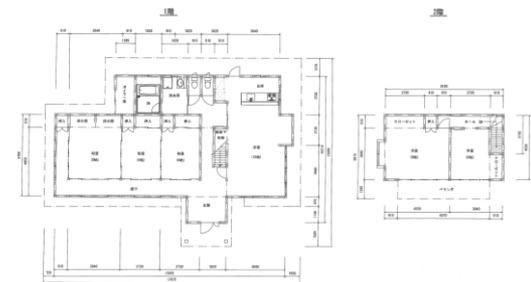
地区) 小豆畑

■ ターゲット

ワカサギ釣り
移住検討者

■ 来年度の予定

開業に向けて、備品の購入と一部改修を行う



4. 花山の歴史・技術・文化の継承と共有



生活に根差して継承され続けてきた
栗原の**文化**や**歴史**、**技術**。
その全てが文化財に指定されるようなものではない。
だけど、感情が動くものって多くありませんか？
それを一つ一つ**学び**、**共有**していきたい。



まとめ

課題や特徴	プロジェクト
人口減少	移住体験ツアー (かがやく女性たちと過ごす花山いなか時間、ぼくらの農カルライフプロジェクト)
空き家問題	空き家利活用プロジェクト
交通問題	デマンド交通、買い物支援プロジェクト
集いの場の不足 雇用の場の不足	湖畔のみせ旬彩の運営
後継者不足	中山間地域における小果樹類を活用した 地域活性化支援事業 (ふさすぐり事業)
PR	はなやま暮らしの発行、 花山の歴史・文化・技術の継承と共有
放射能問題	放射能検査
宿泊地不足	住宅宿泊事業